

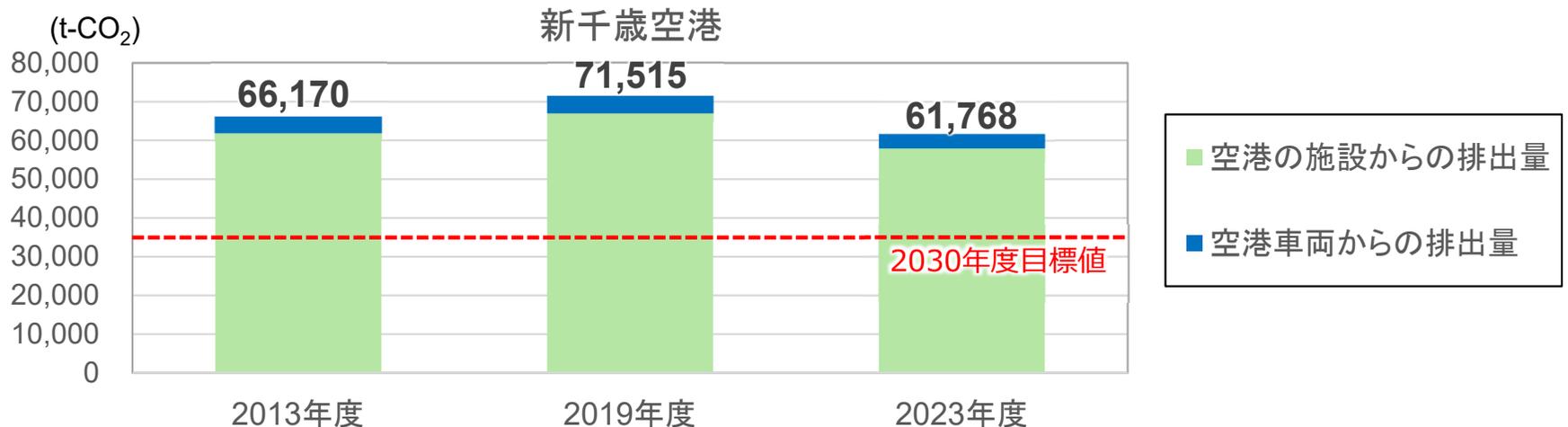
■ 目標:2013年度比 温室効果ガスの削減量

| | |
|----------|---------------|
| 2030年度目標 | 2013年度比 46%削減 |
| 2050年度目標 | カーボンニュートラル |

■ 取組み状況

- **空港の施設**：航空灯火のLED化により、2023年度のCO₂排出量は推定372t-CO₂/年削減。(2013年度比0.56%相当)
施設照明のLED化により、2023年度のCO₂排出量は推定462t-CO₂/年削減。(2013年度比0.70%相当)
- **空港車両**：空港車両のEV化により、2023年度のCO₂排出量は推定27t-CO₂/年削減。(2013年度比0.041%相当)
空港車両のBDF化により、2023年度のCO₂排出量は推定6t-CO₂/年削減。(2013年度比0.0091%相当)

| 区分 | 実績 (CO ₂ 排出量) [t-CO ₂ /年] | | |
|-------------|---|---------------|---------------|
| | 2013年度 | 2019年度 | 2023年度 (現状) |
| 空港の施設からの排出量 | 61,866 | 66,977 | 58,035 |
| 空港車両からの排出量 | 4,304 | 4,538 | 3,732 |
| 計 | 66,170 | 71,515 | 61,768 |



■ CO₂排出量の減少理由

※2024年度時点での協議会構成員からの報告をもとに作成

- 2023年度における空港の施設からのCO₂排出量が2019年度排出量と比べ少ないのは、航空灯火や施設照明のLED化等が進んだことや、2019年度に比べ航空機の運用便数が少なかったこと、旅客ターミナルビル等における暖房使用頻度が少なかったこと等が影響したと考えられる。
- 2023年度においては除雪車両の稼働が減ったため、空港車両からのCO₂排出量が2019年度と比べ減少したと考えられる。